

決算特別委員会

決算特別委員会（議長及び監査委員を除く16人の議員で構成、委員長菊池由紀夫議員、副委員長佐々木大郎議員）は、決算等9件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全9議案が原案のとおり可決・承認されました。

読みやすく、わかりやすい誌面を目指して
広聴広報常任委員会

【視察日程】
平成27年8月18日
【視察研修先】
栗石町
盛岡市

【参加議員】
菊池由紀夫
小林立栄
菊池美也
多田勉
照井文雄
菊池充



栗石町役場内で議会広報の説明を受ける

奨学資金の実態は

問 収入未済額が大きい、件数的には何件なのか。
答 人数では37名となっているが、卒業後、職に就けなかったり離職したりして計画通りの返済ができずに納められない方や5千円とか1万円ずつの返済の方もあり実態に見合った目標収納率を設定している。

問 対象者の住所調査と請求対策の実態は。
答 市内8名、県内11名、県外18名で本人に通知し、何も連絡が取れない場合は家族に送付して返済をお願いしている。

問 奨学金の返済内容について、例えば、市内に就職し住み続ける、あるいは市外に出る、あるいは市外に出る。

栗石町・議会広報の概要について
栗石町は町制施行が昭和30年4月で、人口17,422人。その中で町議会は16名で構成され、3常任委員会と、広報編集は7名の特別委員会が構成されている。

栗石町議会広報は、平成4年5月から今年7月まで94号発行されている。町民の関心が高いと思われる議案等を優先的に掲載、議会活動状況を町民にわかりやすく知らせるなどを方針に編集され、町村議会広報コンクールにおいて、優秀賞・奨励賞など複数回にわたり受賞。さらに平成26年度には表紙写真フォトグランプリ賞を受賞されている。

紙面づくりにおいても、親しみやすく、読みやすいもの（町に転入した嫁・婿紹介）や、話題性のあるもの（議

決された後の動き等の追跡レポート）、一般質問コーナーの議員写真への吹き出しで「チヨットひとりごと」を追加など大変よく工夫されている。

また、もともと特徴的なものとして、横書きで組まれており、町の広報との差別化をはかり、見やすく印象強いものとなっている。

今回の当委員会の視察研修では、栗石議会だよりの特色を学ぶことができ、非常に有意義な場となった。当議会だよりにも取り入れていくことが可能なことは、参考にしていきたい。

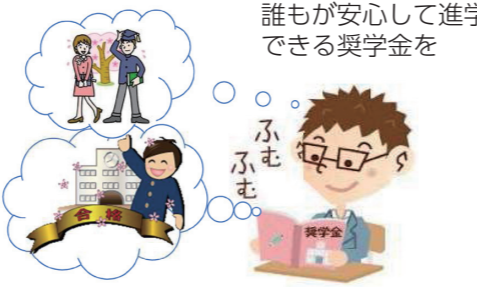
盛岡市・自治体におけるペーパーレス議会の有効性
現在、地方自治体議会において29自治体がペーパーレス議会を実施している。うち、13自治体がデータ管理シ

奨学資金の実態は

問 収入未済額が大きい、件数的には何件なのか。
答 人数では37名となっているが、卒業後、職に就けなかったり離職したりして計画通りの返済ができずに納められない方や5千円とか1万円ずつの返済の方もあり実態に見合った目標収納率を設定している。

問 対象者の住所調査と請求対策の実態は。
答 市内8名、県内11名、県外18名で本人に通知し、何も連絡が取れない場合は家族に送付して返済をお願いしている。

問 奨学金の返済内容について、例えば、市内に就職し住み続ける、あるいは市外に出る、あるいは市外に出る。



誰もが安心して進学できる奨学金を

実践型職員研修成果と民間感覚の取得は

問 民間感覚から得ることに期待するものは。
答 ビジネスマナーや柔軟な発想、派遣による仲間づくり。

問 地元企業は中小企業が多い。大企業にはないものもあるが、交流や訓練は考えていないか。
答 新採用研修は市内企業にも依頼している。他に地域活動やイベント参加を呼びかけている。強制はできないが参加する気持ち大切にしたい。

研修人数が減り旅費が増している原因は

問 研修人数減なのに旅費が増加になった要因は。
答 旅費増は、東京方面への派遣研修のため。人数減は、26年度は職員による市長と



即実践のための職員研修

個人情報に係る職員モラルの研修は

問 マイナンバー制度実施により職員のモラルが大事と思うが、セキユリティポリシーの見直しを実施中。職員のアクセス状況が記録されるシステムなので、抑止力になる。問題が起きないように徹底したい。
答 かなり厳しい研修と対応が大事で、住民のためと思っていただきたい。

問 市民目線、民間意識を心がける。
答 市民目線、民間意識を心がける。

生活困窮者自立支援モデル事業とは

問 どのような方が利用しているのか。
答 生活困窮者自立支援法が施行され、生活保護者まで行かない方で、昨年は支援事業21件、相談は91件あった。人それぞれ

システムを導入。最初に導入した自治体は、神奈川県川尻市議会であり、これからも導入する自治体が増えるものと予想されている。

導入によるメリットとして、1点目は、議員活動の効率化に向け、これまで紙の資料にかかっていた手間をペーパーレス化で改善、現在の資料、過去の資料、検索も可能、各種の関連資料データや他の自治体のデータ等もインターネットから検索が可能となる。2点目として、議会側の経費削減策、用紙・印刷・保管にかかるコストの削減。当局側の効果として、各会議のペーパーレス化による経費削減。混在環境でのペーパーレス、パソコン・タブレットとあらゆる



実際に端末に触れて研修